

編集後記

この度はお忙しい中、原稿の執筆にご協力いただきました先生、学生の皆様はこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。歯学部ニュースの編集に微力ながら関わらせていただき、大変良い経験になりました。コロナ禍で先の見えない不安が広がる中、多くの方の新たな旅立ちや活躍の知らせが、同窓の先生方の希望の一つとなることを願っております。今後も歯学部ニュースが、だれかの気持ちを明るくできる情報発信の場であることを期待したいと思います。

歯科矯正学 北見 公平

この度はお忙しい中、原稿執筆に快くご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。歯学部ニュースの編集に携わらせていただくのは初めてでしたが、多くの方のご協力のもとに発行されていることが改めてわかる良い機会となりました。コロナ禍の影響で編集も全てメールでのやりとりのみで進行しましたが、大きな問題もなく発行され嬉しく思います。歯学部ニュースは毎号情報量が多く、私も楽しく読ませていただいておりますが、本冊子が皆様に役立つ何かをお伝えできましたら幸いです。

歯科総合診療科 中村 太

原稿執筆を依頼する立場として、今回はじめて歯学部ニュース作製に関わる事となり、改めて多くの教員の先生方の尽力によって作りあげられた冊子であると認識致しました。

本冊子は本学の活動歴や教員の先生方を知る貴重な情報源であり、さらにコロナ禍で対面での交流が制限される昨今において、その価値を実感できたのではないかと思います。今後も新潟大学歯学部内の活動を内外に発信する広報誌としての役割を願い、次号以降も楽しみにしております。

顎顔面口腔外科学 永井 孝宏

歯学部ニュースは学生の頃より楽しく拝読しておりましたが、今回初めて編集に携わらせていただき、多くの方々のご尽力のもと出来上がっているのだと実感できた良い経験となりました。学生さんや研修医の先生方にはコロナ禍でいろいろな制限のある中での生活の様子を寄稿いただきましたが、同じくコロナ禍で学生生活を送る後輩読者への励ましになるのではと感じました。執筆を快くお引き受けいただいた皆様に感謝申し上げます。

小児歯科・障がい者歯科 花崎 美華

この度、歯学部ニュース140号の編集長を務めさせていただきました。この編集作業を行っている期間中は、新型コロナウイルスも第5波後に一度落ち着きを見せたかのように見られましたが、その後すぐに変異株への予断を許さない状況が続いています。新潟大学歯学部では、コロナ禍の状況を見極めながら感染対策を行った上で、授業に取り組んでいます。本号では、“Beyondコロナ”という特集を組み、コロナ禍での臨床実習や就職活動に学生がどう取り組んでいるかを紹介させていただきました。少しでも学生の様子が伝われば幸いです。ご多忙の中、ご寄稿下さった方々、編集委員の先生方、また読んでいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

口腔生命福祉学 米澤 大輔